

[江別市] 施策達成度報告書

政策 04 安全で快適な都市生活の充実

施策 02 交通環境の充実

主管課：都市計画課

施策の目的

交通環境を充実させることにより、市内・市外の移動を円滑にし、市民の安全性・利便性・快適性を高めます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民及び道路利用者	円滑な移動を可能にし、市民の安全性・利便性・快適性を高める。
-----------	--------------------------------

施策の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
市内の移動に困らない市民割合	%	79.6	80.9	-	77.8	78.6	74.7	↗
市外への移動に困らない市民割合	%	79.0	81.0	-	77.2	79.0	76.9	↗

施策の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、道路の維持補修、雪対策及び公共交通の充実に努めてきたが、道路等の老朽化、大雪などの気象条件、利用者減少に伴うバス減便などの要因もあり、成果指標は施策及び各基本事業ともに初期値に対しやや下回る傾向で推移し、目標を達成できない結果となった。  
これを踏まえ、今後も各種の取り組みを行い、交通環境の充実を図り、市民の安全性・利便性・快適性の向上に努めていくことが必要である。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	1,946,509	2,115,368	2,156,344	2,066,476	2,362,349
事業費(千円)	1,773,909	1,961,019	1,995,018	1,894,128	2,184,995
人件費(千円)	172,600	154,349	161,326	172,348	177,354

**基本事業**

**01 安全で快適な道路づくり**

**基本事業の目的**

道路を整備・改修・維持することにより、安全で快適に通行できるようにします。また、放置自転車対策などを行うことにより人に優しい歩行者空間を確保します。

**対象(誰を対象とした指標か)**

**意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)**

市民、道路利用者

道路利用者が、安全で快適に通行できる交通環境を確保するとともに、人に優しい歩行者空間を確保する。

**基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)**

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
安全で快適に移動できると感じる市民割合	%	71.1	73.9	-	69.1	69.0	64.5	↗
道路維持管理上の不具合件数	件	513	585	627	823	956	1,094	400

**基本事業の達成状況(25年度)**

後期目標の達成状況については、これまでも道路の維持補修に努めてきたが、市内の道路等は、全体的に老朽化が進行しているため、また、市民が求める市民ニーズも多様化しているなどの要因もあり、市民割合は初期値に対しやや下回る傾向で推移し、また、不具合件数も年々増加傾向となった。

これを踏まえ、今後は道路パトロール体制の強化ときめ細かな巡回による道路維持に努めるとともに、必要に応じて再整備、改修を実施し、安全で快適に通行できる交通環境の確保に努めていくことが必要である。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	1,096,995	974,608	1,041,259	945,262	1,235,723
事業費(千円)	1,007,791	916,979	983,070	885,542	1,159,548
人件費(千円)	89,204	57,629	58,189	59,720	76,175

基本事業の目的

行政と市民、事業者が協働で除排雪に取り組むことにより冬期間の交通を確保し、円滑な冬の移動を確保します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、道路利用者

冬期間の交通の確保や、置雪問題など行政と市民が協働で快適な冬の生活を確保し、社会・経済活動を支援する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
雪対策が充実していると思う市民割合	%	44.6	48.4	-	43.1	41.3	41.7	↗

基本事業の達成状況(25年度)

後期目標の達成状況については、自治会排雪の区域拡大などにより冬期間の交通の確保に努めてきたが、大雪や暴風雪の発生などの要因もあり、成果指標は初期値よりやや下回る傾向で推移した。

これを踏まえ、今後は冬期の安全で安心な市民生活の確保のため、除排雪体制の充実、除排雪機械の更新、さらには自治会排雪等の拡充に努め、除排雪を進めていくことが必要である。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	765,907	1,034,807	1,002,498	994,357	1,010,901
事業費(千円)	741,842	1,015,060	982,834	976,321	993,321
人件費(千円)	24,065	19,747	19,664	18,036	17,580

**基本事業**

**03 移動交通手段の充実**

**基本事業の目的**

日常の移動交通手段を充実させることで、市民の移動を便利にします。

**対象(誰を対象とした指標か)**

**意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)**

市民、既存バス事業者、新規参入交通事業者

住居系地域における移動交通手段への利便性の確保

**基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)**

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
交通手段が充実していると思う市民割合	%	71.3	71.5	-	67.5	71.0	67.7	↗

**基本事業の達成状況(25年度)**

後期目標の達成状況については、バスに関する広報、バスマップの配布、バス運行費への補助などに取り組んできたが、利用者の減少に伴うバスの減便などの要因もあり、成果指標が低下した。  
これを踏まえ、今後は公共交通検討会議の検討結果をもとに、バスの利用促進などを進める必要がある。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	9,852	8,721	9,005	20,773	20,309
事業費(千円)	6,947	4,288	4,591	7,145	7,027
人件費(千円)	2,905	4,433	4,414	13,628	13,282